

シリーズ大岳山の四季を歩く～秋～

◎期 日：2016年10月30日（日）

◎メンバー：Fuka（L）、Naka、Hoshi

8時20分発、上養沢行きバスに乗ります。登山者が多いので、バスを2台出してくれま。こういう配慮は有り難い。軍道で下車。8時30分に小宮小学校の脇から歩き始めます。小宮小学校は廃校になっています。今は地域の方々の文化活動のセンターとなっています。しばらく集落の中を登ると「光明神社」が現れます。立派な神社です。この左側の沢筋から馬頭刈尾根に取り付きます。新宿発ホリデー快速あきがわ1号に乗ります。7時55分武蔵五日市着。今回はNakaさん、Hoshiさんと3人で馬頭刈尾根を歩き、大岳山に登り、鋸尾根を下るというロングトレッキングコースです。

朝、S会のKawaさんからRが入りました。24日に大岳山の鋸尾根で67歳の単独行の男性が滑落したようで、行方不明になっている。今朝7時から20人の捜索隊が出ているとのこと。一週間も経っているので生存が危ぶまれています。先日は奈良の大峰山系の弥山で遭難した53歳の男性が13日ぶりに救助されたという記事が新聞に載っていました。こういう例もあるので望みを繋ぎたいと思います。「本日の私たちのルートでもあるので意識して歩きたい」と返事を返します。Hoshiさんは快調です。しかし馬頭刈山884mと鶴脚山916mを越えたあたりから歩きが鈍くなりました。生憎の曇天で展望は全くなし。途中の展望スポットからは真っ白な霧ばかりです。

Nakaさんは嘗て、長谷川恒男カップ・耐久レースに2回も参加したそうです。「2回目は20時間を切れなくて悔しかった。しかし70歳代の部で第5位に入ったという連絡が来たときは嬉しかった」と語っていました。「大岳山にはそのとき2回通過しているはずだが大岳山頂を通過する頃は明け方なので記憶に残っていない」とも話していました。70歳になってもトレイル・ランに参加しようとする気力に感動します。

しばらく歩くと、ロッククライミングのゲレンデで有名なつづら岩に10人ほどのクライマーが取り付いていました。皆さんクライミングを楽しんでいました。Hoshiさんが声をかけると元気のいい声が返ってきました。大岳山頂1267mに着いたのが13時

25分。頂上には20人くらいの登山者が休んでいました。私達も少し休みます。このまま鋸尾根を下ると暗くなりそうなので、記念写真を撮り13時45分に御獄山経由で下りることにしました。山頂付近は紅葉には少し早かったようです。黄色の葉が色づいていました。まだ紅色は強くありません。しかし登山道は茶色の落葉で埋まっていました。今年の涸沢の紅葉は良くありませんでしたが、奥多摩の紅葉も今ひとつです。



(←落ち葉の登山道を歩く)

長尾茶屋に14時50分着。茶屋のオーナーのKawaさんに今日の搜索の様子を聞くと、遭難した男性は発見できなかったそうです。残念です。茶屋にはその方の搜索願のポスターが貼ってありました。Hoshiさんから頂いた土佐の「鰹の生節」をつまみに「澤ノ井」の燗を頂きます。今日は寒かったので燗酒が腹に染みます。4時のケーブルカーに乗ります。御獄山では犬を連れた参拝者が増えています。御獄駅前の中華「東峯園」で反省会。「餃子」と「焼きそば」「モロキュー」が旨し。澤ノ井を呑みながら、Nakaさんの単独で63歳で登ったアコンカグアの話や67歳で登ったチョーオーユーの話などを伺います。ムスタグ・アタではあと400mで撤退したと言う豪華な話も凄かったです。至福の時間でした。

今回、鋸尾根は下山で使いませんでした。6時間30分のナイストレッキングでした。

《記録》

- 8:00 武蔵五日市駅集合～バス軍道下車8:30～馬頭刈尾根～13:30大岳山山頂(昼食)～
- 14:50 長尾茶屋(休憩)～ケーブルで下山～16:30御獄駅で解散(反省会)